

科目名称	乳児保育
授業コード	AI274
英語名称	Infant Care and Education
学期	2024年度後期
単位	1.0
担当教員	三宅 美千代
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	乳児保育 では、乳児保育 で学んだ基礎的な知識を踏まえ、乳児保育の実際について、3歳未満児の発達や特性を基盤にし、関わりや援助、必要な配慮、計画の作成と評価などの乳児保育の実際について、より具体的に習得していきます。それを通じ、乳児保育における実践的な知識及び技術を身に付けていきます。特に3歳未満児の人間形成の上で大切な乳幼児期の育ちに関わる保育者として、子どもに寄り添い、ともに成長しようとする使命感をもつ意味を理解していきます。
科目に関連する実務経験と授業への活用	看護師・保育士の資格を持つ教員が、小児病棟等における看護師としての実務経験と知識・技術を生かして指導する。
到達目標	<p>本科目は、こども学科が定めるディプロマ・ポリシー「2. 教育・保育に求められる専門知識と技能を体系的に理解するとともに、子どもに関する情報を分析し、子どもの育ちに即した教育及び保育方法を実践することができる。【知識・技能】」および「4. 生命への思いやりをもって子どもと接し、子どもに対する観察・理解力を身に付けるとともに、発達や育ちを基に指導計画を作成し、省察・改善することができる。【人間力・指導力】」、「5 . 教育学や保育学の学びを通して、多様性のある子どもたちの活動に対応できる専門性やコミュニケーション力をつけ、未来を担う子どものための新たな教育・保育方法を提案することができる。【創造的な保育や教育】」の習得のため、以下について系統立てて理解し、自らの保育として実践する力を養う。</p> <p>3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの方針について理解する。          養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもたちの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。          乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解する。          乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。</p>
計画・内容	<p>第1回 ・保育者と乳児の関係の構築          ・愛着、受容と応答、信頼関係</p> <p>第2回 ・乳児保育の一日の生活や活動の流れ</p> <p>第3回 ・乳児保育の生活援助</p> <p>第4回 ・乳児保育の養護技術：おんぶ、抱っこ、睡眠</p> <p>第5回 ・乳児保育の養護技術：排泄、清潔</p> <p>第6回 ・乳児保育の養護技術：沐浴演習</p> <p>第7回 ・乳児保育の養護技術：授乳、離乳食</p> <p>第8回 ・乳児保育の環境          ・乳児保育室の環境と自然環境</p> <p>第9回 ・乳児の主体性の尊重と自己の育ち</p> <p>第10回 ・乳児保育の遊び（1）          ・乳児のおもちゃ作り計画</p> <p>第11回 ・乳児保育の遊び（2）          ・乳児のおもちゃ作りと発表</p> <p>第12回 ・乳児保育における言葉の援助（1）          ・乳児の絵本と言葉遊び</p>

計画・内容	<p>第13回 ・乳児保育における言葉の援助（２） ・乳児の絵本作りと発表</p> <p>第14回 ・乳児保育における指導計画（１） ・長期指導計画と短期指導計画</p> <p>第15回 ・乳児保育における指導計画（２） ・集団指導計画と個別指導計画</p>
授業の進め方	授業前半ではパワーポイントや視聴覚教材を用いて学びの要点を示します。授業後半ではグループディスカッションやプレゼンテーション、ロールプレイングを多く取り入れ、各自の考えを発言し、グループ内における意見を統合し発表を行い、みんなで共有するアクティブラーニングの時間を設けます。
能動的な学びの実施	子どもを取り巻く環境や社会に常に目を向け、子どもが置かれている現状や問題点、乳児に関する情報入手し、自分なりの意見をまとめ考察を行い、授業内で共有し、意見交換を行うなどし、学びや理解を深め、新たな気づきを得ることを希望します。
授業時間外の学修	授業前に教科書の該当箇所を読み、分からない言葉等は事前に調べておいてください。また各回の授業におけるテーマに関連した文献等を検索し、自らの考えをまとめて、学習内容の課題を明確にして望んでください。授業後には毎回授業の学び自分なりに整理し、知識を定着させてください。（合計60時間程度）
教科書・参考書	<p>【教科書】特に無し</p> <p>【参考書】 『保育所保育指針解説』厚生労働省（編）フレーベル館 尾野明美・小湊真衣・菊地篤子著、『アクティブラーニング対応 乳児保育 一日の流れで考える発達と個性に 応じた保育実践』,萌文書林,2019.</p>
成績評価方法と基準	<p>定期試験(50%) 授業内における小テスト(10%) 毎授業のリフレクションペーパー(10%) 課題レポート(20%) 授業参加度(10%)により総合的に成績を評価します。</p>
課題等に対するフィードバック	毎授業におけるリフレクションペーパー内の質問に対し、次の授業で解説を行います。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	<p>・配布資料が多いため、A4サイズのファイルを用意しファイリングをし、また専用のノートを作成するなど、自分なりに各回の授業内容を整理してください。</p> <p>・実技演習時、長い髪はまとめ、爪を切り、清潔で動きやすい服装等で臨んでください。</p>
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方：Zoomで授業内容を講義した後に、各自が課題に取り組み考えをまとめ、オンライン上で意見を発表し、議論します。授業内容の確認小テストを行い、Webフォームに直接入力し、その後解説を行います。</p> <p>zoom授業への参加度(10%)、確認小テスト(20%)、レポート提出(20%)、最終確認試験(50%)により総合的に成績を評価します。</p>